



経堂バプテスト教会

教会短信

2014年8月3日

No. 58

牧師 間淵 善彦

「平和を実現する人々は、幸いである、

その人たちは神の子と呼ばれる」(マタイ福音書5章9節)。

8月に入り暑い盛りです。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。8月と言えば、平和を願われる月です。広島、長崎の原爆投下、そして太平洋戦争の敗戦、戦争の悲惨さを語り継ぎ、二度とわたしたちの国が戦争を引き起こすことのないようにしなければなりません。わたしたちが世界の人びとと平和に暮らしていくために、1人1人ができることを行っていきましょう。

ところで、7月1日安倍内閣は集団的自衛権行使容認の閣議決定をしました。歴代の内閣は、集団的自衛権の行使は憲法9条に違反することであり、行使できないとしてきました。しかし、一内閣の閣僚だけで、今まで積み上げてきた憲法解釈を勝手に変えてしまうことは、これこそがまさに憲法違反です。

集団的自衛権の行使とは、アメリカなどの同盟国がA国から攻撃されたとき、日本も同盟国と一緒にA国と戦争するということです。つまり、同盟国のために戦争に巻き込まれるということです。

わたしは日本が再び戦争のできる国になることは、断固反対です。安倍首相は外国の脅威を盛んに並べたてて、日本の国を守るためには強い国になるべきだと主張しています。集団的自衛権の行使ができることが、外国に対する牽制になり、日本が外国から戦争をしかけられなくなると言います。

本当にそうでしょうか。日本が戦争のできる国になれば、日本に敵対する国は本気で戦争をしかけてくるのではないのでしょうか。日本は平和維持活動として外国に何度も自衛隊を派遣してきました。PKO(国際連合平和維持活動)の自衛隊は、危険な場所にも派遣されました。しかし、PKOの自衛隊が攻撃を受けて犠牲者を出さなかったのは、日本の自衛隊は平和維持活動だけを行い、武力行使しないということが世界に知られていたからです。

わたしは日本の行く末が心配です。自衛隊が危険な所へ派遣されると入隊希望者が減っていくでしょう。すると、次は徴兵制です。若い人たちが戦争で次々と命を落とす、そんなことは絶対あってはなりません。日本の指導者たちが誤った道を選択することがないように祈ります。声を上げるべきときには、声をあげましょう。

わたしの信仰の証し

私は福岡県北九州で生まれ育ち、小学生の頃から母に連れられて折尾バプテスト教会に通っていました。当時の折尾教会の教会学校は子どもたちが多く、夏のキャンプやクリスマス会など楽しい行事がたくさんありました。今でもその時体験した出来事は私の中で楽しい思い出として残っています。

私が小学校高学年の頃、母が自宅を開放して土曜学校を開いていました。ちょうど家の前が公園だったため、土曜の午後は子ども達のたまり場となっていたのです。その子ども達を集め、聖書のお話をしたり賛美歌を歌ったり手作りおやつをみんなで食べたり・・・当時、神学生だった方も来てくださいました。私の友達も含め、子ども達は土曜日を楽しみにしていたようです。そのような環境の中で育った私は自然な形でイエスさまを信じ受け入れ、小学6年生の時にバプテストを受けました。今から約35年ほど前です。

しかし、中学・高校・大学と進学していく中で、教会に行かなくなった時期もありました。決してイエスさまを信じなくなった訳ではないのですが、学校や友達関係、日々の出来事の方を自分で勝手に優先順位をつけ、礼拝を第一に考えなかったのです。母は教会へ行くことを強制はしませんでした。しかし、そんな私の不安定な信仰を、陰ですっと祈ってくれていたのです。

不安定な信仰を持ち続けながら、たまたま参加した「全国青年大会」で、板橋区にある常盤台バプテスト教会の青年と出会いました。後の夫となる人です。彼は本当に信仰深く、誠実であり、心の強い人です。彼と接していくうちに、その強さは、“すべてを主に委ねる”という、神様を心から信頼している信仰からきているのだとわかりました。夫を通して私も再び“どんな時もイエスさまが共にいてくださる”という、心の平安を感じることができました。

それから、息子・娘が与えられ、家族4人で常盤台教会に通っていました。その後、夫の仕事のため筑波に約2年間、そして再び東京・・・と、引っ越しが多かったのですが、不思議なことに、行く先々、近くにバプテスト教会があり、私たちは教会生活を守ることができました。きっと神様が、弱い私に常に教会と信仰の友を与えてくださったのだと思います。

神様は、その時々によって必要なものを与えてくださいます。ふと立ち止まり、今まで歩んできた道を振り返ってみると・・・その時に必要な恵みと試練を与え、成長させてくださっています。これからも礼拝を大切に、喜びの時、悲しみの時、すべて神様に祈りをささげ、信仰生活を守っていきたいと思います。

平和を求める祈り

わたしをあなたの平和の道具としてお使いください

憎しみのあるところに、愛を

いさかいのあるところに、ゆるしを

分裂のあるところに、一致を

疑惑のあるところに、信仰を

誤っているところに、真理を

絶望のあるところに、希望を

闇に光を、悲しみのあるところに、よろこびをもたらすものとしてください

慰められるよりは、慰めることを

理解されるよりは、理解することを

愛されるよりは、愛することを、わたしが求めますように

わたしたちは与えるから受け

ゆるすからゆるされ、自分を捨てて死に

永遠の命をいただくのですから

(聖フランシスコの祈り)

「神よ、私たちの目を開いてください。私たちがあやまちを犯す者であっても、この世界への神の愛を見ることができるよう。私たちに信仰を与えてください。私たちが愚かで弱くあっても、あなたは善い方であると信頼することができるように。わきまえを与えてください。あなたを理解する心をもって祈り続けることができるように。私たちに示してください。来るべき世界の平和のために、1人1人がなすべきことを」。

上記の言葉は、1986年有人月周回飛行に成功したアポロ8号の宇宙飛行士フランク・ボーマン船長が、宇宙から美しい地球を見て感動し、このように神に祈りました。

わたしたちも美しい地球を愚かな戦争や自然破壊で壊すことのないように、世界の平和のために自分が何をすべきかをよく考え、祈り、行動してまいりましょう。

聖書を学ぶ会

- 牧師から詳しく聖書を学びます。
- 讚美歌も歌い楽しい会です。

毎週火曜日 午後1時30分～2時30分

祈祷会

- 静かな夕べに聖書を学びます。
- 共に祈り合います。

毎週水曜日 午後7時30分～8時30分

教会学校（幼児科）

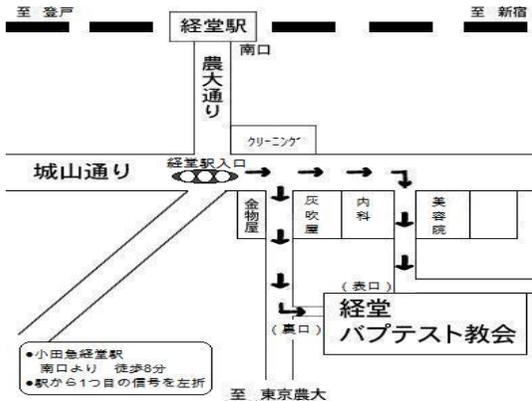
- かわいい讚美歌を歌って、聖書のやさしいお話を聞きます。お祈りもします。

毎週日曜日 午前10時～10時20分

教会学校（成人科）

- 礼拝の中で、牧師のお話を聞いて、感想や意見を述べ合います。わからないところは質問もできます。

毎週日曜日 礼拝後



経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3427-2352

※当教会はプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一協会などとは異なります。